

新潟大学と株式会社小野組は、地域のインフラを守る人材の育成（学生）と社会人のリカレント教育を目指した共同講座を設置しました

本学と株式会社小野組（本社所在地：新潟県胎内市、代表取締役社長：小野貴史氏）は、主に学生及び若手建設技術者を対象として、建設業界への就職に必要な情報の提供、建設に係る基礎的技術の指導、技能者に対する実習、現状の課題に関する取り組み等を通じて、主に新潟県内における建設人材の育成及び定着を図ることを目的とする共同講座「社会インフラ共創講座」を令和4年7月1日に設置しました。



地球温暖化などにより近年増加傾向にある大規模災害や高度経済成長期に建設されたインフラの急激な老朽化等に対応するため、建設業界への期待が高まっています。また、地方においては地域の社会インフラの維持を担う高度かつ専門的な教育を受けた人材が強く望まれています。

このような社会からの要請に応えるため、本共同講座では

- (1) 建設業への就職、技術者の育成、DX化やデータサイエンス活用による技術の高度化に資する講義、実習及び見学等
 - (2) インフラ維持管理、防災・減災対策、建設技術者のリカレント教育に関する研究
 - (3) 官公庁、大学、民間企業の連携や情報共有
- といった事業を行っていきます。

本学では、今後も様々な産業から生活様式に至るまでの幅広い領域において、新潟地域の抱える課題に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献するべく、様々な教育・研究成果の創出を目指していきます。

